

放射能入り 食べますか



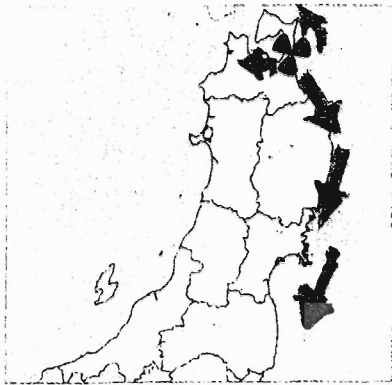
安全に

わたしたちは食べ続けたい!

青森の米・りんご・にんにくを

三陸のワカメ・サンマ・ウニ・カキを

青森県の六ヶ所村にある核燃料の再処理施設はひとたび事故や大きな地震が起きれば大変な被害を日本中に引き起こしますが、事故が起きなくても通常運転でさえ大変危険なものです。



通常運転で、1日で普通の原発1年分の放射性物質を大気中や海中に放出するからです。そして放出された放射性物質は空気を、食べ物を、汚染します。放射能入りの食べ物、食べますか? 家族に食べさせたいと思いませんか?

食べ物が放射能で汚染されるという事実は青森県も認めていることです。青森県は蓄積する放射性物質はごく微量だと主張しています。ですが青森県が予想している数値はすでに再処理工場が稼働しているフランスで測定された数値よりも数十倍から数千倍(お米や牛乳などものによって違います。)も低いものです。そんな都合のいい数字を信じることができますか? さらに放射性物質はこれ以上低ければ安全であるという数値がそもそもないという主張もあります。

もともと自然界にも放射性物質は存在していて私たちは地球上で暮らす以上、その影響を受けずにはられません。自然にある放射性物質も安全ではないのですがそれは受け入れるしかないものです。でもなぜさらにわざわざ人工的に増やして、リスクを高くしなくてはならないのでしょうか。

人工的な放射性物質の中には自然界には存在しない物質もあります。中には私たちの体が自然界に存在する別の物質と間違えて積極的に取り込んでしまうものがあります。空気や食べ物から体内に取り込まれた放射性物質は、体内に留まってその効力の続く限り放射線を出し続けそのまわりの細胞のDNAを壊して様々な病気を引き起こします。そして放射性物質の影響は細胞分裂の活発な胎児や子どもの方が大きいのです。

私たち大人のしたことによって何の罪も責任もない子どもたちが苦しむこと、それは誰も望まないことですよね。一度損なわれてしまえば健康や命は二度と戻ってきません。自分自身と家族のために、そしてこれから生まれてくる未来の子どもたちの幸せのために必要な選択をしましょう。

(M.O)

空気と食べ物を放射能汚染から守りましょう。

まだ間に合う今、一緒にNo!と言いましょう <http://fukurou.txt-nifty.com/pu2/>